

2022年7月19日

信徒の皆さま

菊名教会管理司祭 小笠原 優
教会評議会委員長 米山 哲夫

今後のミサの形態について

皆さまにはいつもお世話になっております。

新型コロナウイルスの感染状況は、7月16日(土)に全国で11万人を超えて過去最高を記録し、横浜でも同日2千225人と7波の始まる以前の10倍ほどに増えています。

このような危機的状況のもと、通常ミサを続けていいものかどうか、7月17日の臨時準備会で話し合いをしました。4分割の地区別ミサに戻すべきだという案と、通常ミサを続けても、感染対策をこれまでどおり行えばいいのではないかという案が出て、結論的には、もうしばらく様子を見ようということになりました。

この背景には、7月3日以降の3回の通常ミサの参加者の平均が120人くらいで、ソーシャル・ディスタンスが保たれていること、感染者の激増にもかかわらず、政府が行動制限をかけていないことがあります。

参加者が120人くらいにとどまっているのは、信徒の皆さまの賢明な判断のおかげです。通常ミサには、ミサに参加しうる機会を増やし、信徒同士の交流の機会を増やすというメリットもあるので、悩ましい判断を迫られているということをご理解ください。

そこで、信徒の皆さまには、この文章全体とともに、以下の3点をお伝えいただきたいと存じます。

1. 当分の間（少なくとも7月中は）通常ミサを行います。8月以降については、変更があり次第、連絡網でお伝えします。
2. 土曜日ミサは、これまで通り継続します。感染をご懸念の方は、土曜日ミサも選択肢に入れてください。
3. 聖母被昇天ミサは、予定通り、8月13日（土）17時と8月14日（日）10時からといたします。